

近畿地方の湧き水について

Springing water in the Kinki region

湧き水サーベイ関西 柴山 元彦 [1]; # 平岡 由次 [2]

Shibayama Motohiko Kansai springing water survey group[1]; # Yoshitsugu Hiraoka[2]

[1] -: [2] 生野高聾

[1] -: [2] IKUNO High School for the Deaf

近畿地方の湧き水について

平岡由次・柴山元彦・香川直子

自然環境研究オフィス

近年、水に関する関心が高い。また、各地の名水を求める人も多い。そこで、私たちは2005年の春から名水や湧き水がどのようなところにあるのか、また、日常飲用している水道水とどこが違うのか、さらに湧き水の水質や周辺地質などと関係するのかなどの調査・研究をはじめた。

まず、私たちは近畿地方（便宜上、三重県・福井県も含めた）にある名水や湧き水を文献やインターネットを利用して資料収集をし、誰でもが自由に採水可能な湧き水・421ヶ所をリストアップした。

次に、実際に現地に行き、調査した。調査項目は日時、気温、水温、pH、Fe分、硬度と周辺地質である。調査メンバーはボランティアを募り、主婦、会社員、教員、定年退職者とその家族を含めた約25人である。以前に一部を発表したが（柴山ほか、2005）その後データ数が増加し約200箇所になったため、改めて報告する。

結果は水温が12~18度が多く、気温と比べると10~15度低い場合が多い。pHは6~8の間のものが大半を占めた。鉄分は0~0.5ppmの範囲であったが、扇状地などの伏流水はやや高めであった。硬度は10~100ppmの間であったが、周辺地質が石灰岩からの湧き水は高い数値を示した。また、湧き水の分布高度はほとんどが200mであった。また地質との関連も検討した。これらの一部は「湧き水めぐり1」（2006）として出版公表した。